

第 29 期

決 算 報 告 書

令和 1年10月 1日から

令和 2年 9月30日まで

株 式 会 社 北 前 館

(法人番号:1140001056167)



貸借対照表

商号 株式会社 北前館

代表者 太田垣 健作

令和 2年 9月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流動資産	(68,204,184)	I 流動負債	(16,234,194)
現金及び預金	66,693,832	短期借入金	315,969
な掛り	397,702	1年以内返済長期借入金	8,000,000
前払費用	835,912	未払法人税等	864,000
未償還引当金	196,638	未払消費税等	3,067,640
	51,998	繰上り未払	211,000
	30,102		883,900
	△ 2,000		109,921
			2,781,764
II 固定資産	(4,631,943)	II 固定負債	(74,744,000)
有形固定資産	(4,264,453)	長期借入金	74,744,000
建物	1,194,769		
構築物	30,825		
車両運搬具	2		
工具、器具及び備品	72,439		
一括償却資産	184,654		
	2,781,764		
無形固定資産	(212,810)		
ソフトウェア	212,810		
		負債の部合計	90,978,194
投資その他の資産	(154,680)	(純資産の部)	
出長期前払費用	13,000	I 株主資本	(-18,142,067)
	141,680	1. 資本金	25,000,000
		2. 資本剰余金	(0)
		3. 利益剰余金	(△ 43,142,067)
		(1)利益準備金	800,000
		(2)その他利益剰余金	(-43,942,067)
		繰越利益剰余金	△ 43,942,067
III 繰延資産	(0)	II 評価・換算差額等	(0)
		III 新株予約権	(0)
		純資産の部合計	-18,142,067
資産の部合計	72,836,127	負債・純資産の部合計	72,836,127



損益計算書

令和 1年10月 1日から
令和 2年 9月30日まで

商号 株式会社 北前館

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売上高	44,320,288	44,320,288	44,320,288
II 売上原価	4,934,658	569,533 4,934,658	
III 売上総利益		5,504,191 484,672	5,019,519
IV 営業費用			39,300,769
V 営業外費用		38,647,118	38,647,118
VI 営業外利益			653,651
VII 特別利益			196 500
VIII 特別損失		1,259,776	1,260,472
IX 経常利益		1,612,996	1,612,996
X 特別利益			301,127
XI 特別損失		3,300,000	3,300,000
XII 税引前当期純利益			0
XIII 法人税、住民税及び事業税		211,000	3,601,127
XIV 当期純利益			211,000
			3,390,127



販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 1年10月 1日から
令和 2年 9月30日まで

(単位：円)

科 目	金 額
販売員給与	12,517,760
販売員雑費	1,716,009
広告宣伝費	304,929
発送配達費	33,011
役員報酬	470,000
法定福利費	1,050,968
厚生費	178,587
減価償却費	1,424,829
賃借料	304,432
修繕費	385,969
事務用品費	161,171
通信通費	1,119,374
水道光熱費	9,984,505
租税公課	1,850,400
会費負担金	394,667
接待交際費	85,658
保険料	656,762
備品消耗品費	1,292,564
支払手数料	2,937,202
支車両費	230,756
リース料	306,660
貸倒償却費	1,000
雑費	1,239,905
合 計	38,647,118

たな卸資産の計算内訳

令和 2年 9月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商品	484,672
貯蔵品	351,240
合 計	835,912

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 北前館

令和 1年10月 1日から 令和 2年 9月30日まで

(単位：円)

	株主資本						株主資本合計	評価・ 換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本剰余金		利益剰余金		自己株式					
	資本 準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	その他 利益剰余金	自己株式	自己株式				
当期首残高	25,000,000	0	0	800,000	-47,332,194	0	-21,532,194	0	-21,532,194	
当期変動額										
当期純利益					3,390,127		3,390,127		3,390,127	
当期変動額合計	0	0	0	0	3,390,127	0	3,390,127	0	3,390,127	
当期末残高	25,000,000	0	0	800,000	-43,942,067	0	-18,142,067	0	-18,142,067	

■ その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書

(単位：円)

	その他資本剰余金の内訳			その他利益剰余金の内訳				その他利益剰余金 合計
	資本金及び資本準備金減少 差益	自己株式処分 差益	その他資本剰余金 合計	別途積立金			繰越 利益剰余金	
当期末残高	0	0	0	0			-47,332,194	-47,332,194
当期変動額							3,390,127	3,390,127
当期純利益							3,390,127	3,390,127
当期変動額合計	0	0	0	0			-43,942,067	-43,942,067
当期末残高	0	0	0	0				

個別注記表

令和 1年10月 1日から

令和 2年 9月30日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

なお、一括償却資産については、3年均等償却を採用しております。

(2)無形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

(3)リース資産

定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 20,044,806円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 500株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、-36,284.13円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、6,780.25円であります。

以上

株式会社北前館 第29期営業報告

1 営業の概況と成果

昨年10月から今年3月までの上半期は総売上額が前期対比102.1%と順調な経営状況でしたが、1月以降、国内で新型コロナウイルスが猛威をふるい、社会、経済活動が大きく制限される状況となりました。

4月7日には緊急事態宣言が発出され、15日には兵庫県が関係施設に対して休業要請を行いました。これを受けて豊岡市から感染症対策に対する指示があり4月20日から5月21日まで臨時休館することになりました。

再開後も新型コロナウイルス感染の不安が払拭されず、入館者は伸び悩みました。加えて梅雨明けが大きく遅れたことから本施設利用のトップシーズンである夏季の売り上げが大きく落ち込む結果となりました。

温泉部門では営業時間を午前11時から午後8時までと短縮させていただき、サウナは密を避けるため使用を中止させていただきました。また、夏期の繁忙期には安全対策として入浴者数を制限させていただきましたので、売上額は大きく落ち込み14,676千円、前期対比76.0%となりました。

特産品部門も入館者の減少による影響を受け、売上額7,799千円、前期対比88.6%と大きく割り込む結果となりました。

ジオカヌーと駐車場部門は、新型コロナウイルスと長梅雨の影響を受け、ジオカヌー部門は売上額3,988千円、前期対比82.4%、駐車場部門は売上額6,718千円、前期対比82.7%で、今期の総売上高は44,320千円、前期対比83.3%、経常利益は301千円となりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い大きな影響を受けた中小企業に対する国の持続化給付金2,000千円、兵庫県の休業要請に応じた企業等に対する休業要請事業者経営継続支援金1,300千円を受けることができ、特別利益として処理いたしました結果、税引後当期利益は3,390千円となりました。

今後とも更なる経営改善及び利便性向上に努めて参りますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、第29期の営業報告とさせていただきます。

(1) 部門別の売上高

(単位：千円)

部門	温泉浴場	特産品店	受託料	駐車整理料	ジオカヌー	その他	合計
売上高	14,676	7,799	9,400	6,718	3,988	1,739	44,320

(2) 営業成績および財産状況の推移

区分	第24期 平成27年9月	第25期 平成28年9月	第26期 平成29年9月	第27期 平成30年9月	第28期 令和元年9月	第29期 令和2年9月
売上高 (単位：千円)	98,171	99,520	90,634	65,996	53,215	44,320
経常利益 (単位：千円)	1,319	4,178	△ 2,616	158	4,792	301
当期利益 (単位：千円)	1,111	4,005	△ 2,815	△ 3,293	4,586	3,390
1株当り当期利益 (単位：円)	2,222	8,010	△ 5,630	△ 6,587	9,172	6,780
総資産 (単位：千円)	35,477	31,301	23,220	32,539	31,468	72,836
純資産 (単位：千円)	△ 24,014	△ 20,009	△ 22,824	△ 26,118	△ 21,532	△ 18,142

2 会社の概況 (令和2年9月30日現在)

(1) 業務状況

① 受託業務

施設名	業務内容
竹野北前館	豊岡市立竹野北前館の管理・運営（かぜまちミュージアム、ナビステーション、海洋学習室、交流ホール等）・諸団体事務局
温泉供給施設	泉源管理、供給業務一式（自動車付帯施設）

② 直営業務

施設名	業務内容
竹野北前館	温泉浴場、特産品店、駐車場、ジオガイド、ジオカヌー等

(2) 当社の現状

① 資本金の推移

(単位：千円)

区分	当期末	前期末
資本金	25,000	25,000

(注) 平成3年10月1日発行株式数 500株 発行価格 (1株当り) 50,000円

② 株式の状況

イ 株式数 (発行済株式の総数)	500 株
ロ 当期末株主数	128 名

(3) 従業員の状況

(単位：人)

区 分	当 期 末	前 期 末	増 減
男 子	5	5	0
女 子	1	1	0
合 計	6	6	0

(4) 取締役及び監査役

① 取締役

役 職 名	氏 名
代 表 取 締 役	太田垣 健 作
取 締 役	宮 嶋 俊 夫
取 締 役	岩 井 美 晴
取 締 役	濱 松 淳
取 締 役	藤 原 誠
取 締 役	米 田 達 也

② 監査役

監 査 役	太田垣 征 司
監 査 役	瀧 下 貴 也

監査報告書

1 監査対象期間（第 29 期）

自 令和元年 10 月 1 日
至 令和 2 年 9 月 30 日

2 監査概要

私たち監査役は、株式会社北前館の第 29 期の営業年度における経営状況について、令和 2 年 10 月 16 日代表取締役太田垣健作より提出された貸借対照表、損益計算書及び収支証拠書類並びにこれらに付帯する関係補助簿について照合精査いたしました。なお、この度の監査において監査場所は株式会社北前館、監査立会人は、代表取締役太田垣健作でした。

3 監査結果

- (1) 会計全般にわたり、関係帳簿と照合精査した結果、会計帳簿の記載金額と一致し財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、株式会社北前館の損益の状況を正しく表示していると認めます。
- (2) 取締役の職務遂行に関する不正行為又は、定款に違反する事実はないと認めます。

4 監査意見書

私たち監査役は、毎月の役員会に出席して取締役の経営検討執行状況及び、日々の従業員の勤務状況も確認してきました。

この度の新型コロナウイルス禍による経営の打撃は大変大きな物でした。このような中、前年度と比較して売上額は大きく減少したものの、国県の各種助成金給付金等の支援金を除いても、僅か乍ら実質黒字になったことは平素の経営努力によるものであり、称賛に価すると考えます。

創立 30 周年に向けて引続きコロナウイルス対策をしっかりとやり、顧客満足を第一としたサービスの提供等により経営体制が確立され、株主や地元の協力、声援を受けられるよう、さらに努力をされることを切に望みます。

令和 2 年 10 月 16 日

監査役 太田垣 征 司



監査役 瀧 下 貴 也



株式会社 北 前 館

代表取締役 太田垣 健 作 殿